



薬剤科  
興梠 真美

# 月経困難症について

新しい年度が始まって1か月が過ぎましたが、体調を崩されたりしていませんか？さて、今回は月経困難症についてお話していきます。月経時に体調不良を感じる方も多いのではないのでしょうか。

## <月経困難症とは?>

月経困難症は、月経時あるいはその直前から下腹部痛、腰痛などの月経痛や悪心、嘔吐、イライラ感、脱力感、憂鬱などさまざまな不快な症状が出現し、日常生活が障害され何らかの治療が必要とされる疾患と言われています。月経痛は多少でも痛みがあるものを含めると、女性の約80%に見られ、その約半数は日常生活に支障をきたしているとの報告もあります。



月経困難症は以下の2つの種類に分類されます。

- ① 器質性月経困難症: 何らかの病気が原因となって起きる。
- ② 機能性月経困難症: 特に原因となる病気がなくて起きる。  
冷え、ストレス、運動不足や骨盤内のうっ血などが原因として考えられます。

## 器質性月経困難症と機能性月経困難症の違い

	原因疾患	年代	痛みの特徴
器質性月経困難症	子宮内膜症 子宮腺筋症 子宮筋腫など	20代後半から30代くらいから始まる	年々痛みがひどくなる、月経中痛みが続く、月経過多を伴うなど
機能性月経困難症	特になし	初経後2~3年で現れ、10代~20代が多い	月経前から始まり、月経の初日や翌日くらいまでに治まる 妊娠や出産を機になくなることもある

## <器質性月経困難症の原因疾患>

- \* 子宮内膜症: 本来子宮内膜組織は子宮腔内だけに存在するのですが、子宮内膜症とは骨盤内や卵巣など子宮以外の場所で似たような組織が増殖する病気です。月経痛、月経時以外の腹痛、性交痛などの症状があります。
- \* 子宮腺筋症: 子宮内膜症は、子宮内膜に類似した組織が子宮以外の場所にできてしまうものですが、子宮腺筋症とは、類似した組織が子宮筋の中にでき、子宮全体または筋層の一部が厚くなる病気です。月経痛、過多月経、骨盤痛などの症状があります。
- \* 子宮筋腫: 子宮筋層にできる良性の腫瘍のことです。過多月経、それに伴う貧血、月経痛の憎悪等がよみられる症状です。

## <月経困難症の治療に使われる代表的な薬と治療法>

月経困難症に使われる薬や治療法はいくつかあり、年齢や病状、患者様のご希望(妊娠希望、ホルモン剤の使用希望、手術希望など)によって変わってきます。

### ① 鎮痛剤

痛みの原因物質であるプロスタグランジンを抑え、痛みを軽減します。一般的に痛みが強くなる前に服用の方が効果的です。対症療法であり、根本的な治療ではありません。

### ② 女性ホルモン剤

排卵や子宮内膜が厚くなること抑え、月経量を減らしたり、プロスタグランジンの産生を抑え月経痛や腰痛などの症状を改善したりします。

現在、当院で月経困難症の治療として使用しているお薬に、\*LEPのヤーズ配合錠、ヤーズフレックス配合錠、フリウエル配合錠LD、フリウエル配合錠ULDがあります。このお薬の副作用として血栓症がありますが、これは女性ホルモン(エストロゲン)による血液凝固系の亢進が関連しています。フリウエル配合錠ULDは、LDと比べ配合されているエストロゲン量が少ない為、血栓症のリスクが少ないと言われてます。( \*LEP: 低用量エストロゲン-プロゲステン製剤)

黄体ホルモン単体のディナゲスト錠0.5mgも月経困難症の治療として使用されます。子宮内膜症や子宮腺筋症を伴う場合は1mg製剤(ディナゲスト錠1mg、ジエノゲスト錠1mg)が適応となります。

### ③ 偽閉経療法

子宮内膜症や子宮筋腫を伴う際、卵巣の機能を抑え女性ホルモン(特にエストロゲン)の分泌を抑制し、閉経状態にする治療法を偽閉経療法と言います。子宮内膜症や筋腫の縮小が期待でき、手術前に用いられることもあります。

### ④ 漢方薬

個人の体質や症状に合わせて処方され、体質を改善することで症状を軽減します。当院には、漢方外来もありますので漢方で治療したいと思われる方はご相談ください。

	当院で処方される薬品名	特徴
鎮痛剤	カロナール錠300mg ジクロフェナク錠25mg ロキソプロフェン錠60mg	痛みに関して即効性がある 対症療法であり月経ごとに服用する
女性ホルモン剤 (LEP)	ヤーズ配合錠 ヤーズフレックス配合錠 フリウエル配合錠LD フリウエル配合錠ULD	ホルモンの変動によっておこる頭痛やイライラが減る プロスタグランジンを抑えることで痛みが軽くなる 月経血の期間や量が少なくなる 吐き気、頭痛を感じることもある 重い副作用として血栓症に注意が必要
女性ホルモン剤 (黄体ホルモンのみ)	ディナゲスト錠0.5mg (子宮内膜症、子宮腺筋症を伴う場合は1mgを使用します)	エストロゲンを含まず、血栓症のリスクが少ない 鎮痛効果が高い 服用開始後、不正出血がよくみられる 更年期様症状を感じることもある
偽閉経療法	リュープロレリン注射用キット ゾラデックス1.8mgデポー ナサニール点鼻液 プセリン点鼻液 レルミナ錠	効果の発現が速い 更年期様症状、骨量量の低下の可能性のある 長期間使用できない(1クール最長6か月)
漢方薬	四逆散 四物湯 芎藭調血飲 桂枝茯苓丸 桃核承気湯 芍薬甘草湯 桂枝加芍薬湯など	体質改善が期待される 効果発現に時間がかかることがある 対症療法(鎮痛剤など)と併用が多い

軽い運動、バランスのとれた食事など暮らしの中のちょっとした工夫や生活習慣の見直しによって症状を和らげることができる場合もあるので、少し意識して取り入れてみましょう。

今日お話しした内容でご自身の中で気になることなどありましたら、一度婦人科検診も兼ねて医師にご相談してみたいいかがでしょうか？